

治療計画書

療法名

ダラキューロ+Kd療法 1サイクル目

療法

1サイクル 4 週

疾患名 再発又は難治性の多発性骨髄腫(1サイクル目)

注射 内服 放射線	Rp	商品名	用量(/回)	投与ルート	投与時間																												
			用量(/日)			用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
		照射部位	照射量																														
注射	1	5%糖液	250 ml	点滴	キープ																												
						●	●																										
注射	2	ダラキューロ	1800 mg	皮下注		●																											
注射	3	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	キープ	●	●																										
注射	4	カイクロリス	20 mg/m ²	点滴(側管)	30分間	●	●																										
		注射用水	2mg/mlで溶解																														
		5%糖液	100 ml																														
			※最大44mg																														
注射	5	カイクロリス	56 mg/m ²	点滴(側管)	30分間																												
		注射用水	2mg/mlで溶解																														
		5%糖液	100 ml																														
			※最大123mg																														
注射	6	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●	●																										
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
内服	1	レナデックス	20 mg	ダラキューロ投与1時間前		●																											
内服	2	レナデックス	20 mg	1日1回朝食後			●																										
内服	3	レナデックス	40 mg	ダラキューロ投与1時間前																													
内服	4	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	2 mg	ダラキューロ投与1時間前	●																												
内服	5	カロナール	1000 mg	ダラキューロ投与1時間前	●																												
内服	6																																
内服	7																																
放射線			Gy																														

特記事項

- ・Grade3のインフュージョンリアクションが3回出現した場合およびGrade4のインフュージョンリアクションが出現した場合は、ダラキューロの投与を中止する。
- ・カイクロリスは年齢や毒性に応じて減量を考慮する。
- ・75歳を超える、過小体重(BMI: 18.5kg/m2未満)、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に対する忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者には、レナデックスを以下のように減量する: Day1, 2, 8, 15, 22に20mgを、Day9, 16に8mgを内服する。

減量規定

薬品名	カイクロリス			
標準投与量	56 mg/m ²			
1段階減量	45 mg/m ²			
2段階減量	36 mg/m ²			
3段階減量	27 mg/m ²			
4段階減量	投与中止			